

平成 22 年 4 月 16 日現在

研究種目：基盤研究（c）
 研究期間：2007～2009
 課題番号：19520501
 研究課題名（和文）書く力に転移する英文の読み方の研究

研究課題名（英文）Reading practices which are likely to transfer to writing ability

研究代表者

吉村富美子 (YOSHIMURA, FUMIKO)
 東北学院大学・文学部・准教授
 研究者番号：80310001

研究成果の概要(和文):本研究では、効率的に書く力に転移するような英文の読み方について、理論的、実証的検証を行った。文献研究から書く力に転移するような英文の読み方を特定し、そのような読み方を取り入れたチェックリストを作成し、その効果について実験研究と教室研究を行った。実験研究からは、読み書きを統合すること自体転移を促進し、チェックリストはその読み書きの統合をスムーズにすることがわかった。また、教室研究からは、チェックリストを使った指導は学習者の英文を書く力を向上させるのに有効であることが示された。

研究成果の概要(英文): The purpose of this program of research is to search for reading practices which are likely to promote EFL learners' writing ability. A checklist was created by synthesizing and concretizing reading practices which were found promising in previous research. The effectiveness of the checklist was investigated by an experiment and classroom research. The results suggest that a reading practice using the checklist promotes students' learning about writing and improves their writing performance both under experimental and normal school conditions.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
2009年度	500,000	150,000	650,000
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：英語教育、書く力、読む力、転移、チェックリスト、writing、reading、checklist

1. 研究開始当初の背景

近年、研究やビジネスにおいて英語で発信する力がますます求められるようになってきた。日本人学生は読むことを中心にした英語指導を受けていることが多いので、日本で

ライティング指導を行う場合、読む力を活用した指導が効率的である。ただ、読む力は自動的に書く力に転移しないので、どのような読み方が書く力に転移しやすいのかを特定する必要がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、効率的に書く力に転移するような英文の読み方について、理論的、実証的検証を行うことにあった。

3. 研究の方法

書く力に転移するような英文の読み方を主に文献研究から特定し、そのような読み方を取り入れたチェックリストを作成し、その効果について実証研究（実験と教室研究）を行った。

4. 研究成果

本研究では、効率的に書く力に転移する英文の読み方について、理論的、実証的検証を行った。具体的には、読み書きの関係についての研究 (Reading Writing Connection Studies) で理論的に効果があるとされている英文の読み方を特定し、そのような読み方を取り入れたチェックリストを作成し、その効果について実証研究を行った。

まず、リーディング研究、ライティング研究、英語教育学、第二言語習得研究等の分野の文献研究から、読む力と書く力は密接に関連している (e. g., Hirvela, 2004; Tierney & Shanahan, 1991) が、相違点もある (e. g., Grabe, 2001) ことがわかった。その相違点とは、deliberate awarenessとreflection on language等の違いである。しかし、読む目的や読み方を変えることによって、読者の注意の向き方を変えることができる (e. g., Hayes, 1996) こともわかった。そこで、書く力に転移する可能性のある具体的な読み方を探した。そして、そのような読み方として、rhetorical reading (Carrell & Conner, 1991)、mining (Greene, 1993)、rhetorical reading strategies (Haas & Flower, 1988) 等を特定し、これらの読み方を質問や指示項目として取り入れた「英文を読むためのチェックリスト (Checklist for reading English academic texts (Appendix A))」を作成した。

次に、このチェックリストの効果調べるために、疑似実験を行った。実験では、学生を2つのグループに分け、実験グループの学生にはチェックリストを使って英文を読んでもらい、統制グループの学生にはチェックリストを使わないで同じ英文を読んでもらった。このリーディング・タスクの前後に同じタイトルの英文を書いてもらい、それらを pre-test と post-test として、その英文の質の変化を調べた。学生に書いてもらった英文は、英語のネイティブの先生がたに分析評価してもらった。分析評価項目としては、ジャンルの意識、内容、マクロ・ストラクチャー、マイクロ・ストラクチャー、言語選択の幅と複雑さ、言語間違いの6項目を使った。学生には、post-testの後に自分の読み書き行

動について自己分析もしてもらった。学生の書いた英文の分析からは、チェックリストがあるほうが、背景知識とテキスト情報の統合がよりスムーズに行われ、ジャンルへの意識が高まることが分かった。学生の自己分析からは、チェックリストの質問や指示項目は学生の読みのガイドとしては使われていたが、書くプロセスをガイドするほど内在化されていないことも分かった。

そこで、書くプロセスにおける読みのガイドとしてさらに「編集用のチェックリスト (a checklist for revisions) (Appendix B)」と「校正用のチェックリスト (a grammar self-checklist) (Appendix C)」の2つのチェックリストを作成した。

これら3つのチェックリストを実際の授業で使ってみて、これらのチェックリストを使った指導が学生の英文ライティングの向上につながるかどうかを検証した。

授業では、プロセス・アプローチ (e. g., Flower & Hayes, 1981; Zamel, 1982) や、学生同士の相互評価 (e. g., Liu & Hansen, 2005)、フォーカス・オン・フォームの指導 (e. g., Long & Robinson, 1998) などの書く力を育てるのに有効であるとされる方法も用いた。授業では、「英文を読むためのチェックリスト」はモデル文の中から自分の英文を書く時に使える情報を学ぶために使わせ、「編集用のチェックリスト」は自分の書いた英文の構成や表現の確認のために使わせ、「校正用のチェックリスト」は、英文の文法間違いなどの最終確認のために使わせた。

この教室研究における効果の測定のために最初の授業で学生に書いてもらった英文 (pre-test) と最後の授業で同じ条件で書いてもらった英文 (post-test 1) を比較し、さらに、pre-testと学生が何度か編集を行った後の原稿 (post-test 2) を比較した。結果は、どちらの比較からも学生の英文ライティングの質には著しい向上が見られた。また、事後アンケートの結果からは、学生の多くがチェックリストを英文を読むガイドとしても書くための情報を得るガイドとしても効果的だと捉えていることがわかった。指導後の英文リーディングやライティングに対する態度の変化についての質問には、多くの学生が英文ライティングのさまざまな面に注意を向けるようになったり、英文ライティング力をつける前提としての読むことの重要性に気づくようになったり、普段の英文リーディングにおいても文章の組み立てや英語表現にこれまでよりいっそう注意を払うようになったと回答している。学生の書いた英文の質の向上はチェックリストだけの効果であるとは言えないが、少なくともチェックリストを使った授業が学生の英文ライティング力の向上に効果があったのは確かである。

以上のように、本研究で作成したチェックリスト及び、チェックリストを使った授業は、実験の結果から見ても教室研究からの結果から見ても効果があると言えるのではないだろうか。Adler-Kassner & Estrem (2007) は “carefully considering what we ask students to read, how we ask them to read it, and why, is an essential aspect of writing program administration” (p. 35) と述べている。英文ライティング指導においては、読み方を指導することも書く力をつけさせるためには重要な要素である。本研究で作成したチェックリストを使うことによって、学習者に英文のどこにいつ注目すべきかを明示的に指導することが可能となり、ひいてはそれが学習者の英文ライティング力の向上につながるのではないかと期待している。

なお、本研究で作成したチェックリストに使った具体的な質問や指示項目については、さらなる研究を続け、改良していく必要がある。

Appendix A

Checklist for reading English academic texts

Before you read: 実際英文を読む前に、テキスト全体を見渡してください。特に、タイトル、最初と最後のパラグラフ、各パラグラフの最初や最後には重要な情報が書いてあることが多いので、目を留める価値があります。そして、次の質問について考えてください。

1. What do you think the text is about?
2. Call on your prior knowledge and feelings about the topic. What do you know about the topic

1st reading: まずは、ざっとテキストの概要と全体の論理構成をつかむために英文を読みましょう。その際に、次の質問を念頭に置きながら読んでください。パラグラフごとに理解を確認しながら読みましょう。

3. Where is the thesis statement (主題文) in the introduction?
4. What does each paragraph tell you? Check your understanding after each paragraph.
5. Find main ideas (論点) and supporting data (データ、理由、説明) in each paragraph.
6. How has the author organized his or her ideas? How are the paragraphs related to each other?
7. What is the conclusion?

2nd reading: 次は、しっかり英文を理解するために、次の点を確認しながら英文を丁寧に

読みましょう。今回の理解の単位は、まず意味のまとまりごとで、次に一文ごとです。ゆっくり時間をかけてしっかり理解しましょう。

8. Read the text phrase by phrase. Check your understanding after each phrase.
9. Check for the predicate verb (述語動詞: どうした・どうだ) and the subject (主語: 何が) in each sentence.
10. Check your understanding after each sentence.

3rd reading: 次は、自分が英文を書くときに使えるような表現や、自分が書くときに間違えそうな文法事項などに注意しながら、もう一度丁寧に英文を読みましょう。必要だったら辞書を引きましょう。

11. Find the key words to understand the text.
12. Find words which show the development of the text and relationships between sentences.
13. Check for the word choice. (語彙選択)
14. Check for the word form and grammatical structure. (語彙形式と文法形式)
15. Check for the verb tense and verb voice. (動詞の時制と態)
16. Check how the words are combined with each other (collocation).
e.g. verb and preposition, verb and noun, adjective and noun, preposition and noun, etc.

After reading: 英文を読んでしまったら、次の質問について考えてみてください。まず、筆者の想定した読者や書いた目的について考え、次に筆者の意見と自分の意見を比べてみて、自分はどう思うのか考えてみましょう。

17. For whom do you think the author is writing the text?
18. For what purpose do you think the author is writing the text?
19. Do you have any opinions about the ideas presented in the text? How are your opinions similar to or different from the author's?
20. If you wrote a paper about the issue presented in the reading material, what would you write about?

Appendix B

Checklist for Revisions

Before you read: まず誰を想定して、何を目的にその英文を書いたのかを確認してください。

1. Who are the target readers?
2. What are the purposes of writing the

paper?

1st reading: 最初に、ざっとテキストの概要と全体の論理構成をつかむために英文を読みましょう。その際に、次の質問を念頭に置きながら読んでください。全体が関連しあっていて、英文を書いた目的に合致していますか。

3. Where is the thesis statement (主題文) in the introduction?
4. What does each paragraph tell you? Check your understanding after each paragraph.
5. Find main ideas (論点) and the supporting details (データ、理由、説明) in each paragraph. Are the main ideas developed sufficiently by related details?
6. How has the author organized his or her ideas? How are the paragraphs related to each other?
7. What is the conclusion? Is it related to the thesis statement?

2nd reading: 次は、文が自然な流れでつながっているか、英語の文構造 (S+V) がしっかりしているかを確かめながら丁寧に読みましょう。今回の理解の単位は、まず意味のまとまりごとで、次に一文ごとです。

8. Read the text phrase by phrase. Check your understanding after each phrase.
9. Check for the predicate verb (述語動詞: どうした・どうだ) and the subject (主語: 何が) in each sentence.
10. Check your understanding after each sentence.

3rd reading: 次は、正確な英文になっているかどうかを確かめるために、もう一度丁寧に英文を読みましょう。必要だったら辞書を引きましょう。

11. Find words which show the development of the text and relationships between sentences.
(つなぎことば、代名詞が適切に使われているか)
12. Check for the word choice. (語彙選択)
13. Check for the word form and grammatical structure. (語彙形式と文法形式)
14. Check for the verb tense and verb voice. (動詞の時制と態)
15. Check how the words are combined with each other (collocation).
e.g. verb and preposition, verb and noun, adjective and noun, preposition and noun, etc.

自信がなければ、英和活用辞典をひくこと。

16. Check for grammatical mistakes, spelling and punctuation.

After reading: 英文を読んでしまったら、文章全体を見渡し、課題にそっているか、必要な情報がぜんぶ入っているか、ページデザインは見やすいかなどスタイルの面を確かめてください。

17. Does the paper conform to the requirements of the assignment?
(e.g., length, rules, conventions)
18. Can you find all the necessary information in the paper?
Title, the writer's ID, the writer's name, headings and the paragraphs [(abstract), introduction, body (具体的なタイトル), conclusion, (references)]
19. Is the page well-designed?
20. Do the writing style, citations, and references conform to APA?

Appendix C

Grammar self-checklist

下の例のような間違いをしていないか確認してください。

1. 名詞には冠詞をつけているか。
English is common language.
I talked foreigner.
2. 単数、複数の区別を確認する。
Elementary school begins the teaching of English.
3. 動詞の時制は正しいか。
I saw a foreigner. We talk in English.
English becomes an international language.
4. 動詞からみて、主語が正しく書けているか。
Many country speaks English all over the world.
International conferences are discussed by English.
5. 動詞は、きちんとしているか。
English becoming universal language.
Using English is need to Japanese.
6. 前置詞がちゃんと使われているか。
English is used many countries.
7. 不完全な文になっていないか。
Because English is an international language.
English is possible for us as an effective means to connect with people of the world.
8. 自動詞と他動詞の区別ができていないか。
We discussed about the problem.

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① Yoshimura, F. (2009). Searching for reading instruction methods to promote the development of EFL writing ability. *Journal of the Institute for Research in English Language and Literature* 34, 43-65. 査読有

② Yoshimura, F. (2009). Effects of connecting reading and writing and a checklist to guide the reading process on EFL learners' learning about English writing. *Procedia Social Sciences* 1 (1), 1871-1883. 査読有

[学会発表] (計3件)

① Yoshimura, F. (2009). Effects of connecting reading and writing and a checklist to guide the reading process on EFL learners' learning about English writing. World Conference on Educational Sciences 2009 (Nicosia, North Cyprus), February 7, 2009.

② Yoshimura, F. (2009). The effectiveness of checklists for connecting reading and writing in an EFL writing course. Symposium on Second Language Writing (Arizona State University, U. S. A.), November 5, 2009.

③ Yoshimura, F. (2009). Treatment of errors in an English writing course. JALT 2009: 35th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Expo. (Granship Shizuoka, Japan), November 22, 2009.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉村富美子 (YOSHIMURA FUMIKO)
研究者番号 : 80310001

(2) 研究分担者 無

(3) 連携研究者 無